

令和6年度 技術情報第6号
いちご アザミウマ類（ヒラズハナアザミウマ）

令和6年11月27日
静岡県病虫害防除所長

いちごのアザミウマ類（ヒラズハナアザミウマ）が平年よりも多く発生しています。今後、既に施設内に侵入した個体が増殖し、果実被害の発生が予想されるため、防除の徹底をお願いします。

1 発生状況

- （1）令和6年11月中旬のいちご巡回調査では、アザミウマ類の平均寄生株率は5.6%（平年2.0%）、平均発生面積率は53.3%（平年18.1%）と平年より発生が多かった（表1）。
なお、この時期としては、1997年の調査開始以降で最も発生が多かった。
- （2）同様に、地域別では、東部地域の寄生株率及び発生面積率がともに0%（平年0.3%及び9.0%）、中部地域では7.4%（平年4.1%）及び70.0%（平年28.3%）、中遠地域では9.4%（平年1.5%）及び90.0%（平年17.0%）と、中部及び中遠地域での発生が多かった（表1）。
- （3）本年は11月までの気温が平年より高く推移しており、施設内への本虫の侵入が助長されている。今後、既に施設内に侵入した個体が増殖し、果実被害の発生が予想されるため注意する。

2 防除対策

- （1）本虫は花を好んで寄生する。花における発生状況をよく観察し、本虫の寄生が認められた場合は少発生うちに防除する。また、必要のない花は摘み取る。
- （2）施設内外の雑草や花き類は、本虫の発生源となるため除去する。
- （3）天敵製剤を利用するほ場では、天敵に対して影響の小さい薬剤を選択して防除する。
- （4）薬剤防除については、病虫害防除所による[「静岡県農薬安全使用指針・農作物病虫害防除基準」](#)を参照する。なお、薬剤の選択に際しては収穫前日数に注意する。
- （5）不明な点については、病虫害防除所、農林事務所等の指導機関に問い合わせる。

表1 県内各地域のいちごにおけるアザミウマ類の発生状況（11月中旬）

		東部	中部	中遠	県平均
寄生株率(%)	本年	0	7.4	9.4	5.6
	平年	0.3	4.1	1.5	2.0
発生面積率(%)	本年	0	70.0	90.0	53.0
	平年	9.0	28.3	17.0	18.1

注) 各地域10ほ場、1ほ場あたり50株を調査。



図1 ヒラズハナアザミウマ雌成虫
注) 体色：黒褐色、体長：1.3～1.7mm



図2 いちごの花に寄生するヒラズハナアザミウマ
注) 矢印：ヒラズハナアザミウマ



図3 アザミウマ類による
いちご果実の被害(褐変症状)

【問合せ先】 静岡県病虫害防除所

〒438-0803 磐田市富丘 678-1 TEL 0538-36-1543 FAX 0538-33-0780

ホームページ <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norinjimusho/1058658/boujo/index.html>

